

高層ビルの長い揺れ予報

長周期地震動の階級

※気象庁の長周期地震動階級関連解説表を基に作成

	人の体感・行動	室内の状況
階級1 やや大きな揺れ	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる	ブラインドなどつり下げたものが大きく揺れる
階級2 大きな揺れ	室内で大きな揺れを感じ、物につかまらなると感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる	キャスター付き家具類がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある
階級3 非常に大きな揺れ	立っていることが困難になる	キャスター付き家具類が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なもののは倒れることがある
階級4 極めて大きな揺れ	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる	キャスター付き家具類が大きく動き、転倒し半分のものが移動し、倒れるものもある

緊急地震速報

高層ビルの上層階にゆくりとした長く大きな揺れをもたらす「長周期地震動」について、気象庁は2023年2月1日から緊急地震速報の対象に加える。発生を予測し、4段階で揺れの大きさを示す「長周期地震動階級」の上位2階級(階級3と4)が想定される地域を対象に発表する。近年は大都市圏を中心に高層ビルが増加し、長周期地震動の影響を受ける人が急増していることから、気象庁が準備を進めていた。担当者は「ビルの利用者にも身を守る行動を取ってもらいたい」としている。

長周期地震動は地震の規模を示すマグニチュード

自らに公表しないよう働きかけ、外交的圧力も強めていた。31日はバチエレ氏の退任日で、公表はジュネーブ時間で日付が変わる十数分前だった。報告書は指摘

人権を重視する国連としての立場を明確にした。中国当局は、イスラム教徒が多数を占めるウイグル族らの取り締まりは「テロ」や「過激派」対策だと主張

を口実に問題とする行為の範囲を大幅に広げているとの見方を示した。中国当局が「職業技能教育訓練センター」と呼ぶ再教育施設については、元収

が拘束された状態で電気棒で殴られたり、女性が性的暴力を受けたりするなど、拷問や虐待が行われていたとも指摘した。収容者の総数は確認できないとして

24年ぶり水準 米利上げ継続
1日の外国為替市場で円一時1ドル114.0円台を相場が対ドルで下落し、一ヶ月、1998年8月以来、

来年2月から「立つこと困難」以上、対象

(M) が大きな地震で発生し、震源から遠く離れて震度が大きくない場所でも起きるのが特徴だ。階級は13年に定められ、上から2番目の階級3は立っていることが困難で、階級4だと床を歩かないと動くことができないほどの揺れとされる。東京、名古屋、大阪の3大都市圏は、軟弱な地盤が広がっているため影響を受けやすいという。

今後の発生が見込まれる「南海トラフ巨大地震」でも、被害が懸念されている。内閣府が15年に公表した報告書によると、M9級の地震が起きた場合、高さ200〜300階のビル最上階の最大の揺れ幅は、大阪市住之江区で約6倍と推計される。

07年に始まった緊急地震速報は、強い揺れが来る前にテレビやスマートフォン防災アプリなどを通じて警報を出す仕組み。現在は最大震度5弱以上が予想さ



災害備え

水を使った訓練用消火器で訓練を行う森ビルの社員たち—東京都港区で1日、三浦研吾撮影(19、21、23面に関連記事)

れる地震について、震度4以上と見込まれる地域を対象に発表している。

長周期地震動の予測を加えた新たな緊急地震速報は、階級3、4の長周期地震動が見込まれる地域でも発表される。発表の方法は変わらないという。気象庁によると、過去2年間に観測された階級3以上は全国で年1〜2回だった。階級4は年一回あるかどうかの頻度という。気象庁の担当者は「高層ビルでない建物でも免震構造の建物は揺れの周期が長く、長周期地震動の影響を受ける。意識して対策を講じてほしい」と話している。【安藤いく子】